



2011年3月9日

各位



(証券コード 4541 東証・大証・名証各一部)

代表者名 代表取締役社長 田村 友一

お問合せ先 社長室長 東 満之

TEL 076-442-7026

Aprogen Inc.の株式追加取得に関するお知らせ

当社は2011年1月28日開催の取締役会にて Aprogen Inc. (本社：韓国デジュン、以下、エイプロジェン社)の株式を追加で取得することについて決議しておりましたが、本日付で払込が完了いたしましたので、お知らせいたします。

1. 株式追加取得の理由

当社は2010年10月21日付でエイプロジェン社とバイオ後続品の研究開発を目的とした資本・業務提携契約(以下、本契約)を締結し、バイオ後続品の開発を進めております。エイプロジェン社は韓国政府からの助成を受けて複数のバイオ後続品(一般名インフリキシマブ・トラスツズマブ・リツキシマブ・ダルベポエチンアルファなど)の開発を行っており、本契約に基づきエイプロジェン社が開発するバイオ後続品の日本国内における独占的な販売権とエイプロジェン社の発行済み株式総数の33.4%に相当する株式を取得いたしました。また、エイプロジェン社の取締役に当社代表取締役社長田村友一と取締役常務執行役員 町田英一の2名が就任しております。

今回の株式追加取得の理由といたしましては当社のバイオ後続品開発をより加速化し、複数のバイオ後続品の開発ならびに商業生産時の安定供給を可能とするための戦略的な展開を目的としています。

なお、当社が保有するエイプロジェン社の株式は発行済み株式総数の52.7%に相当いたします。また、バイオ後続品の開発をより迅速に進めることを目的に、現在就任している取締役2名に加えて、1名が追加で取締役に就任する予定です。

2. エイプロジェン社の概要

- | | |
|---------------|--|
| (1) 名称 | Aprogen Inc. |
| (2) 所在地 | Bldg No. E-18, KAIST, Gwahangro, Yuseong-gu, Daejeon, 305-701, Korea |
| (3) 代表者の役職・氏名 | President & CEO Jaeseob Kim |
| (4) 事業内容 | バイオ医薬品の開発など |
| (5) 資本金 | 9,068,352,500 ウォン(2010年12月31日現在) |
| (6) 設立年月日 | 2000年4月4日 |

3.追加取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

- | | |
|---------------|-------------------------------|
| (1) 異動前の所有株式数 | 6,057,660 株 (所有割合 33.4%) |
| (2) 取得株式数 | 10,200,000 株 (取得価額 1,705 百万円) |
| (3) 異動後の所有株式数 | 16,257,660 株 (所有割合 52.7%) |

4.日程

- | | |
|-------------|------------|
| (1) 取締役会決議 | 2011年1月28日 |
| (2) 株式取得予定日 | 2011年3月11日 |

5.今後の見通し

エイプロジェン社は今回取得する資金を今後のバイオ後続品の開発・製造設備に充当する予定です。これにより、現在当社が進めているバイオ後続品の開発を迅速化し、複数の開発候補品を効率的に開発・製造することを予定しております。

また、エイプロジェン社は現在当社と開発しているインフリキシマブなどの複数のバイオ後続品の治験薬を含む製造を KBCC(Korea Biotechnology Commercialization Center)に委託いたします。KBCC は韓国政府が投資している c-GMP (最新の製造管理および品質管理基準) 対応のバイオ医薬品製造施設です。バイオ医薬品の製造実績が豊富であり、当社バイオ後続品開発の迅速化に寄与するものと考えております。

本件による当期業績に与える影響は軽微であり、現時点ではエイプロジェン社を当社連結子会社の対象にする予定はございません。今後の見通しにつきましては詳細が決まり次第、改めてお知らせいたします。

以上